

出題範囲及び試験内容について

1 出題範囲

「介護支援専門員実務研修受講試験の試験問題出題範囲の概要」を参照
 詳細については、茨城県社会福祉協議会ホームページに掲載する。

2 試験内容

(1) 出題方式

五肢複択方式とする。

(2) 出題数、試験時間等

ア 出題数、試験時間

区 分		問題数	試験時間
介護支援分野	介護保険制度の基礎知識 要介護認定等の基礎知識 居宅・施設サービス計画の基礎知識等	25問	120分 (原則10～12時) ※点字受験者(1.5倍)
保健医療福祉 サービス分野	保健医療サービスの知識等 福祉サービスの知識等	20問 15問	180分 ※弱視等受験者(1.3倍)
合 計		60問	156分

イ 遅刻者の入室許可は、試験開始後30分までとし、それ以降は認めない。

なお、気象状況、交通事故等により多数の遅刻者が定刻に出席できないときは、その状況、回復の見通し等を確認の上、試験総本部において判断すること。

ウ 退室時間は、試験開始後30分からとし、それ以前は認めない。

(別表)

「介護支援専門員実務研修受講試験の試験問題出題範囲の概要」

介護保険法別表の科目	区分	大項目
一 この法律その他関係法令に関する科目	1 基本視点	1 介護保険制度導入の背景
		2 介護保険と介護支援サービス
	2 介護保険制度論	1 介護保険制度論
		3 ケアマネジメント機能論
二 居宅サービス計画、施設サービス計画及び介護予防サービス計画に関する科目		1 ケアマネジメント機能論
		2 介護支援サービス方法論
		3 介護予防支援サービス方法論
		4 施設介護支援サービス方法論
三 介護給付等対象サービスその他の保健医療サービス及び福祉サービスに関する科目	4 高齢者支援展開論 (高齢者介護総論)	1 総論Ⅰ 医学編
		2 総論Ⅱ 福祉編
		3 総論Ⅲ 臨死編
	5 高齢者支援展開論 (居宅サービス事業各論)	1 訪問介護方法論
		2 訪問入浴介護方法論
		3 訪問看護方法論
		4 訪問リハビリテーション方法論
		5 居宅療養管理指導方法論
		6 通所介護方法論

三 介護給付等対象サービスその他の保健医療サービス及び福祉サービスに関する科目	5 高齢者支援展開論 (居宅サービス事業各論)	7 通所リハビリテーション方法論
		8 短期入所生活介護方法論
		9 短期入所療養介護方法論
		10 特定施設入居者生活介護方法論
		11 福祉用具及び住宅改修方法論
	6 高齢者支援展開論 (地域密着型サービス事業各論)	1 定期巡回・随時対応型訪問介護看護方法論
		2 夜間対応型訪問介護方法論
		3 地域密着型通所介護方法論
		4 認知症対応型通所介護方法論
		5 小規模多機能型居宅介護方法論
		6 認知症対応型共同生活介護方法論
		7 地域密着型特定施設入居者生活介護方法論
		8 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護方法論
		9 複合型サービス方法論
	7 高齢者支援展開論 (介護予防サービス事業各論)	1 介護予防訪問入浴介護方法論
		2 介護予防訪問看護方法論
		3 介護予防訪問リハビリテーション方法論
		4 介護予防居宅療養管理指導方法論
		5 訪問予防通所リハビリテーション方法論
		6 介護予防短期入所生活介護方法論
		7 介護予防短期入所療養介護方法論
		8 介護予防特定施設入居者生活介護方法論
		9 介護予防福祉用具及び介護予防住宅改修方法論
	8 高齢者支援展開論 (地域密着型介護予防サービス事業各論)	1 介護予防認知症対応型通所介護方法論
		2 介護予防小規模多機能型居宅介護方法論
		3 介護予防認知症対応型共同生活介護方法論
	9 高齢者支援展開論 (介護保険施設各論)	1 指定介護老人福祉施設サービス方法論
		2 介護老人保健施設サービス方法論
		3 指定介護療養型医療施設サービス方法論
		4 介護医療院サービス方法論
10 高齢者支援展開論 (社会資源活用論)	1 公的サービスおよびその他の社会資源導入方法論	
四 要介護認定及び要支援認定に関する科目	11 要介護・要支援認定特論	1 要介護認定の流れ
		2 一次判定の仕組み
		3 二次判定の仕組み
<p>(注1) この表に掲げる項目は、介護保険法、関連法令に規定されたもの及びその関連通知で基礎的な知識及び技能を有することの確認のために必要な内容を含むものとする。</p> <p>(注2) さらに詳細な内容については、茨城県社会福祉協議会ホームページに掲載します。</p>		